Kawasaki Team Green

Ninja Team Green Cup 2026

車両規則及び参加規則

Kawasaki

2026年 9 月 28 日 第 14 版 発行

Ninja Team Green Cup
参加規則及び車両規則

参加される方は、必ずご理解ください。

本規則は日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）発行の国内競技規則を基に、Ninja Team Green Cup用に追加、変更を加えた規則であり、公道走行用モデルをベースに、安全性、平等性、経済性を考慮したレースの実施が目的である。
全ての車両は全ての要素において、本規則に適合していなければならない。
参加者は有効なMFJロードレース競技ライセンスを取得している必要がある。
本規則に明記されていない、またはレースディレクターから許可されていないものについては、基本的に一切の改造・変更は許可されない。ただし、公認された車両が本規則の仕様に合致しない場合は、公認車両の仕様が優先される。もし、車両が不適合と判断された場合、大会審査委員会から出走を認められないことやペナルティー（失格・罰金等）が科せられること、エンジンとECUに限って、改造・変更の不正が確認された場合、失格と共に違約金15万円以下（税込）の調査費用を支払わなければならないことを理解すること。
なお、本規則書と共にMFJ規則書ならびに、各サーキット施設から発行される特別規則書の内容を、必ず理解して参加すること。

目　次

参加規則

主なレース関係者と組織内容 …… 1
開催レース …… 1
走行特別規則（走行中の禁止事項） …… 1

車両規則

カテゴリー …… 2
出場車両 …… 2
排気量 …… 2
排気音 …… 2
出場要件 …… 2
仕　様 …… 2
A. 基本仕様 …… 2
B. レースのために取り外しても良い部品 …… 2
C. レースのために取り外さなければならない部品 …… 2
D. レースや安全確保の為にのため、確認・改造・変更・維持・取り付け・免除改造が義務付けられる事項 …… 2・3
E. レース運営のために改造、変更、取り付け、維持が義務付けられる事項 …… 4
F. 燃料 …… 4
G. 冷却水 …… 4
H. テレメトリー …… 4
I. エアクリーナー …… 4
J. バッテリー …… 4
K. 終了車検の実施 …… 4

装備とビジュアル・アイデンティティ

A. レーシングスーツ …… 5
B. エアバッグ …… 6
C. ヘルメット …… 6
D. 指定レーシングスーツ …… 6
E. 車両グラフィック …… 6

その他 …… 6

参加規則

主なレース関係者と組織内容（詳細はMFJ国内競技規則に記載）

1. **主催者** 当該サーキットのレース運営を行う組織（レース事務局を含む）。
2. **競技監督** 車検長、コース長、進行長などの競技役員（オフィシャル）を総括し、レースを規則に則って運営、管理をする。競技役員の総責任者であるが、罰則を科す権限はない。
3. **審査委員会** その競技開催期間内に起こった違反行為や抗議に関する審理権を有し、参加者と競技役員、ならびに主催者に対しても罰則などの裁定を下せる唯一の独立した機関である
4. **レースディレクター** そのレースに対して、主催者ならびに競技役員や審査委員会へ要請、参加者への指導や管理を行う権限は有するが、レース内容の裁定権限は持たない。
5. **メーカー** レースに関するアドバイス、サポートはできるが、車両を含みレース内容の裁定権限は持たない。

開催レース（参加クラスと参加資格/参加条件）

MFJ（日本モーターサイクルスポーツ協会）発行の、本年度有効なフレッシュマン、国内、国際のいずれかのライセンスを有する者。
レースは参加者を区分した1～3クラスで開催する。
各クラス別に1位から3位の入賞者を表彰する。
2025年内にクラス2で優勝した選手は、その優勝したサーキットに限り、2026年以降は賞典外での参加となる。
本競技会の趣旨のもとに、2023年以降の全日本選手権、ならびに併催のMFJカップでポイントを取得したライダーの参加も賞典外とする。

クラス1
ゼッケンカラー＝ベース：黒／数字：白

●サーキット体験走行経験のある方。
●クラス2以外の方（初参加の方、レース経験が非常に少ない方）。

26

クラス2
ゼッケンカラー＝ベース：赤／数字：白

●全日本選手権やMFJ公認選手権に出場経験のある方。
●過去にNinja Team Green Cupクラス2に出場された方。
●クラス1で優勝した方。※注1）

26

レディースクラス
ゼッケンカラー＝ベース：緑／数字：白

※レースはクラス1･2との混走となる場合があります。
●女性が対象。
●2026年度は「SPA直入」で開催。

26

※注1）クラス1のレースで優勝した方は次回からクラス2となる。
※注2）クラス2に区分された参加者は、クラス1に降格することはできない。
※注3）クラス1の参加者で、あきらかにクラス2のレベルであるとレースディレクターが判断した場合にはクラス2に区分される。その判断基準は以下の通りとする。

●予選で、クラス1の参加者が、クラス2の上位2/3（端数は切り上げる）のベストタイムの平均を上回った場合はクラス2と判断する（上位2/3とは、6台なら4位まで、7台なら5位まで、8～9台なら6位まで、10台なら7位まで）。なお、予選でクラス2に区分されたクラス1の参加者は、各ゼッケンのベースの色と数字を貼り替えるか、全てのゼッケン番号の横に直径5cm以上の赤色のマーキングをして出走しなければならない。
●決勝レース中においても、クラス1の参加者が、クラス2の上位2/3のベストタイムの平均を上回ったラップタイムを記録した場合は、正式結果にてクラス2に区分され、クラス2の表彰対象となる。

※クラス1、クラス2が別レースで開催され、それぞれ走行時の路面状況に変化があった場合は、上記の判断基準を適用しない場合がある。

クラス別表彰（入賞･賞典）順位基準

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
クラス 1	★	★	★	-	-	-
クラス 2	★	★	★	-	-	-
レディースクラス	★	★	★	-	-	-

※各クラス、それぞれ参加台数に関わらず、1位から3位が賞典対象となる。
※レース中、赤旗でレースが終了した場合、その原因となったライダーは走行していた中で最下位とする。（ただし、そのレースが中断され再レースが行われた場合は除く）

シリーズランキング

2026年度のNinja Team Green Cupより、年間シリーズランキング制は廃止とする。

年間固定ゼッケン

前年度の当大会に参戦している選手が、本年度も4戦以上継続参戦される場合、年間を通したゼッケン番号を指定できる。同番号が複数から申請された場合、前年度の参戦数の多い者から優先される。
上記の対象者で、年間固定ゼッケンを希望する場合は、申請期間内に希望するゼッケンをタムラインターナショナル株式会社 Ninja Team Green Cup運営事務局（kawasaki-ntgc@tamura-int.com）まで、下記期間内に申請すること。

抗議について

MFJ国内競技規則第4章、MFJ裁定規則44に準ずる。尚、エンジンとECUの抗議に関してのみ¥33,000（税込）を適用する。

走行特別規則（走行中の禁止事項）

①コーナー入り口で、前車のイン側に入って転倒を発生させた場合、イン側の車両にペナルティを与える。

②コーナーなどで、自分よりアウト側を走っていた車両をコース外に追い出した場合、イン側の車両にペナルティを与える。

③イン側を走行するライダーをアウト側からかぶせて転倒させた場合、アウト側の車両にペナルティを与える。

無理な走行による転倒や、他車と接触はペナルティの対象となることを理解して参加すること。

車両規則

参加者は本規則書に沿った競技できる車両を準備すること。なお、Ninja ZX-25Rの正常進化した国内販売モデルのマフラーを除く共通部品（純正部品）への交換は認めるが、型式違いのエンジンAssy、フレーム、スイングアーム、電気系統一式の交換は認めない。Ninja ZX-25RRの部品を他のモデル（Ninja ZX-25R/Ninja ZX-25R SE）に取り付けることは禁止とする。
本規則に明記しない部品やレースディレクターが許可がしない部品については、基本的に改造・変更は認めない。もし正常進化した部品に交換する必要がある場合は、参加者の義務としてレースディレクターにメールや書面で確認を得て使用すること。

カテゴリー

ワンメイクスポーツプロダクション

一般市販される Ninja ZX-25R／SE／RR をベースとして レース用に安全上必要な改造を施された車両。

出場車両

Kawasaki Ninja ZX-25R
Kawasaki Ninja ZX-25R SE
Kawasaki Ninja ZX-25RR
2021年以降の**日本国内仕様**の市販車に限る。
※逆輸入車は認めない。

排気量

排気量区分

250cc／4ストローク／4気筒

マフラー及び音量

①純正マフラーまたはJMCA認証プレートが貼り付けられ公道走行が認められた状態から加工等がされていないマフラーであること（取り付けステーを除く）。
②排気ガス対策装置の取り外しは禁止する。（エンジン外部に装備されたパイプチューブ類を取り外し、回路を閉塞することも禁止する）
③主催者はレース期間内に音量測定を実施することがあるので、指示された場合は音量の確認を受けなければならない。
④JMCA認定マフラー使用は、該当する型式車種のみ公道使用の認可が得られている場合があるため、詳細は下記の認定/認証マフラー検索サイトより確認し、同じ型式で認定されたJMCAマフラーを装着しておく必要がある。
https://jmca.gr.jp/muffler_search_2/
※自身の車両に装着されていたJMCA認定マフラーが、違う型式のNinja ZX-25Rに装着できたとしても、本レースでは使用出来ない場合があるこ

出場要件

出場車両は道路運送車両の保安基準に適合し一般公道を走行可能な状態を保たれていなければならない。ただし、出走時は「仕様」の項目を適用する。

仕　様

A. 基本仕様

以下に明記されていないすべての事項については、日本国内仕様車両が工場を出荷した時点の仕様を維持していなければならない。

B. レースの為に取り外さなければならない部品

❶同乗者用フットレスト（ブラケットを含む）。ただし、マフラーステーとして使用された場合は除く）
❷公道用ナンバープレート。
❸リアアクスルナットキャップ
❹フットレスト（ステップ）のバンクセンサー

C. レースのために取り外しても良い部品

❶バックミラー（取り外さない場合はテーピングすること）。
取り外す場合は、専用化粧ボルト（品番92001-1034×4個使用）を推奨する。
❷グラブレール（リヤサイドグリップ）
❸サイドスタンド（ただし、D-7を確認）
❹灯火類（ただし、D-8を確認）
❺ホーン
❻ABS作動ヒューズ

D. レースや安全確保のため、確認、改造、変更、維持、取り付け、免除が義務付けられる事項

1）ワイヤーロック

エンジンオイルドレーンプラグ、フィラーキャップ及びオイルフィルターの取付け箇所は、ワイヤーロックが必ず施されていなければならない（ワイヤーロックするための穴あけ加工、オイルフィルターに金属製のホースバンドの装着は認められる）。専用オイルフィルター用ホースバンド（品番J4317-303-617）

2）燃料タンクキャップ及びオイルキャップ

燃料タンクフィラーキャップ及びオイルフィラーキャップは閉じた状態で漏れないようになっていること。

3）エアクリーナーボックス

競技前にエアクリーナーボックス内は、オイル・ガソリン等を空にしておくこと。

4）ラジエタースクリーン

取り付けは認めるが、外気温が30℃を超える場合、レースディレクターより取り外しの指示が出る場合がある。

5）リヤスプロケットガード

①チェーンとリヤスプロケットの間に、身体の一部が誤って挟まれることのないように、リヤスプロケットガード（品番J4120-K25731）、または同等品を取り付けなければならない。
②ガードはスプロケットとドライブチェーンの噛合部をカバーし、最低2㎜の板厚とし、その材質は、アルミニウム合金、頑強な樹脂製（カーボン、ケブラー製は除く）も認められる。
③取り付け方式はスイングアームにボルト・オンとして安易に脱落したりしないよう確実に固定すること。

6）ブレーキレバーおよびクラッチレバープロテクション

①他の車両と接触した場合等にブレーキレバーが作動しないようにブレーキレバープロテクション（品番J4317-204-2159を推奨）の装備を義務付ける。ブレーキレバープロテクションはスロットルグリップの作動に支障をきたさないよう確実に取り付けること。
②クラッチレバープロテクションの装備も認められるが、取り付けない場合は、純正のバーエンドが装着されていなくてはならない。
③レバープロテクションの材質は、樹脂製（ただしカーボン、ケブラー禁止）または、アルミニウム製のもので、最大幅は、取り付け部を含めて左右のグリップラバーエンドから50㎜以上突出していないこと。形状は自由とするが、鋭利な部分やエッジが無い状態で、取り付け方法は片持ちタイプに限定される。

7）サイドスタンド

サイドスタンドは、出走前に取り外すことを推奨するが、取り外すことが困難な場合は、走行中に展開しないよう確実に固定されていなければならない。
サイドスタンドの固定には、A-TECH製サイドスタンドプレート（品番J-4120-K25931）の使用を推奨する。

8）灯火類

ヘッドライト、テールランプなどの灯火類は安全のため取り外すことを推奨するが、取り外すことが困難な場合はそのままでも良い。ただし、ウインカーとテールランプは、転倒、破損時の飛散防止のため、バックミラーと同様に確実にテーピングを施すこと。

9）レバー類

①ブレーキレバー・クラッチレバー（ホルダーを含む）及びクラッチケーブルの変更は認められる。

②ブレーキレバーに関しては、調整機構付きのものも認めるが、リモート式への変更は許可されない。

③ブレーキレバー・クラッチレバーの先端はボール状でなくてはならない（最低直径φ16㎜）。このボールを平たくすることができるが、端部は丸みをもたせていなければならない（最低の厚み14㎜）。

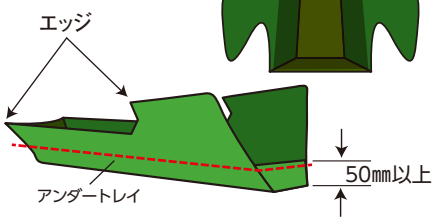
10）フェアリング（カウリング、ウインドスクリーン含む）

①フェアリングは出荷時の状態を維持し、エンジンの破損または故障時に、そのエンジンに使用されるエンジンオイル及びエンジンクーラント総量の半分以上（容量は下記に示す）を、フェアリング下部で保持できるアンダートレイを取り付けなければならない。専用アンダートレイ（品番J4120−K25791）を推奨する。他の製品を使用する場合、アンダートレイ取り付け用ステーの追加が必要な場合は認められる。

Ninja ZX-25R	総量	1/2量
エンジンオイル	2.9ℓ	1.45ℓ
冷却水(リザーブ含む)	1.9ℓ	0.95ℓ
必要アンダーカウル容量		2.4ℓ

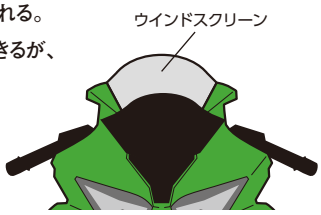
②尖っているエッジは、少なくとも半径8㎜の丸みを持たせなければならない。

③アンダートレイ（オイル受け）の端部の高さは最低50㎜以上確保しなければならない。



④アンダートレイの内側には、オイルを吸収する難燃性の素材が貼られてもよい。この規則を満たすための最低限の外観変更が許可される。

⑤ウインドスクリーン（風防）は変更できるが、露出部分の先端は丸みを持たせなければならない。



11）シート

シートについては、純正部品以外では下記公認アクセサリーシートに限り、交換が認められる。
同じ形状でも他の製品（FRP製など）は使用できない。

公認アクセサリシート

品　名	品　番	メーカー
スポーツシート	99994-1404	カワサキモータース株式会社
シングルシートカバー	各カラーごと	カワサキモータース株式会社

タンク、シート部分に、ライディングポジション調整のための最小限度の部品（パッド、樹脂類など）を装着することは認められる。

12）ドライブ・ドリブンスプロケット 及び ドライブチェーン

①ドライブチェーンは、一般公道で使用できる同一サイズのチェーンに限り交換することができるが、チェーンサイズの変更は禁止される。
Ninja ZX-25R／チェーンサイズ／520

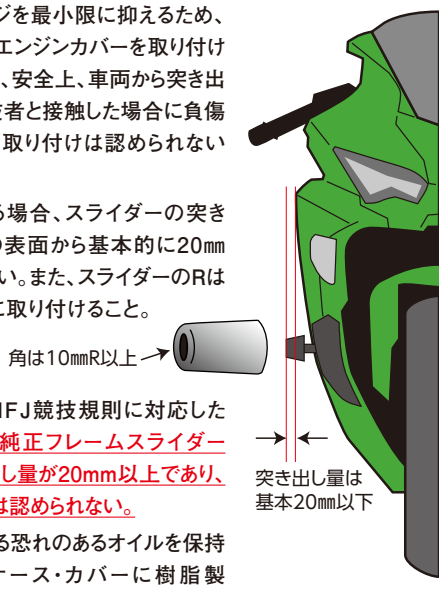
②チェーンのリンク数はファイナルレシオの変更に合わせて変更することができる。

③ドライブ・ドリブンスプロケットを変更してファイナルレシオの変更は認めるが、一般公道での走行に支障がないことを条件とする。

13）レースのために変更・改造が許可される部分

①転倒時に車両のダメージを最小限に抑えるため、フレームにスライダーやエンジンカバーを取り付けることを推奨する。ただし、安全上、車両から突き出ている部分が、他の競技者と接触した場合に負傷の危険性がある製品の取り付けは認められない場合がある。

②スライダーを取り付ける場合、スライダーの突き出し量はフェアリングの表面から基本的に20㎜以上突き出してはならない。また、スライダーのRは10㎜R以上とし、確実に取り付けること。



③フレームスライダーはMFJ競技規則に対応したもののみ使用出来る。純正フレームスライダー（99994-1868）は突き出し量が20mm以上であり、安全性の観点から使用は認められない。

④転倒時に路面に接触する恐れのあるオイルを保持する全てのエンジンケース・カバーに樹脂製（FRP、カーボン、ケブラー、プラスチック、ジュラコン等）の2次カバーを取り付け、保護する措置を推奨する。

⑤車高調整を目的としたフロントフォークの上下の取り付け位置の調整は、車両出荷時に対して、プラスマイナス2mmの範囲で変更することができる。

⑥スイングアームにリヤホイールスタンド用のブラケットの取り付けは可。ただし、長く鋭角なものは安全上使用が認められない場合がある。

⑦ブレーキについては、前後ブレーキパッドとブレーキフルードのみ変更することができる。

14）使用タイヤ

①使用タイヤは、下記に指定したタイヤに限られる。

②公式予選および決勝では、公式車検時に検査を受けマーキングされたタイヤを前後1セットのみ使用できる。ただし、ウエット宣言時には、同一の指定タイヤであることを条件に、マーキング無しのタイヤへ交換することができる。

③スリップサインの出ているタイヤの使用やタイヤに加工することは禁止する。なお、レース終了後にタイヤにスリップサインが出ていた場合は、ペナルティを受ける場合があるので、摩耗したタイヤの使用には十分に注意すること。

④バランスウエイトは、飛散防止のためテーピングを行わなければならない。

2025シーズン指定タイヤ

	メーカー	型　番	サイズ
フロント	ダンロップ	GPR-300F	110／70R17M／C 54H
リア	ダンロップ	GPR-300	150／60R17M／C 66H

15）タイヤウォーマー

グリッド及びピットレーン上でのタイヤウォーマーの使用は禁止される。
使用する場合、スタート前チェックやコースイン時間に間に合わない場合があるので、時間的余裕をもって取り外すこと。

E. レース運営のために改造、変更、取り付け、維持が義務付けられる事項

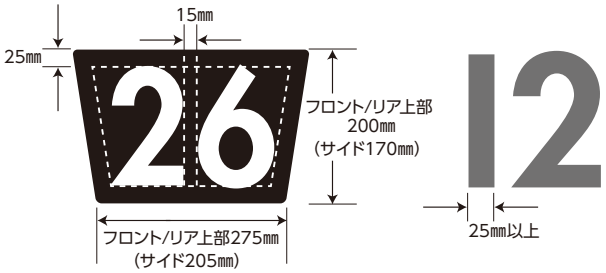
1）ゼッケン

①車両のフロントと、カウルの両サイド、または、シートカウル上部（数字の上部がライダー側）にゼッケンナンバーを装着し、オフィシャルが、常時（走行中を含む）明白に認識できるようにしなければならない。

②シートカウル上部にゼッケンを装着する場合、フロントゼッケンナンバーと同じサイズでなければならない。

③ゼッケンベースは、カウリングに規定の寸法のスペースをつや消し色でペイントするかカッティングシート等を貼ってもよい。ゼッケンのスペースが単色でない場合は、ゼッケンベースを単色に処理した上でゼッケンを貼り付けること。

④ゼッケンベースの最低寸法は275㎜×200㎜とするが、最終的には車検長の判断とする。また、この面積は単色であること。



⑤数字の書体はFutura Heavyを基準とするゴシック体とする。また影付き文字など装飾された書体は認められない。

⑥ゼッケンの数字と数字の間にはネジ等の穴を開けることができる。しかし、どのような状況でも数字自体に穴を開けてはならない。

⑦ゼッケンは、太陽光線の反射を避けて数字がはっきり読めるように、ゼッケンベースの色と同様につや消しで表示すること。

⑧数字の最低寸法は下記のとおりとする。

	フロントゼッケン	サイドゼッケン
最低高	140㎜	120㎜
最低幅	60㎜（「1」の場合25㎜）	60㎜（「1」の場合25㎜）
数字の最低の太さ	25㎜	25㎜
数字間のスペース	15㎜	15㎜

⑨サポートゼッケン
シートカウル上部にゼッケンを表示する場合は、アンダーカウルの左右両面にサポートゼッケンを貼り付けなければならない。サポートゼッケンの貼り付け位置は、アンダーカウル内で前後のタイヤの上端を結ぶ線の下部内とする（アンダーカウル後端部が推奨位置）。
サポートゼッケンの最低寸法は、2桁ゼッケンは幅185㎜×高さ150㎜、3桁ゼッケンは最低幅を260㎜とする。

⑩正規のゼッケンナンバーと混同する恐れのあるその他のゼッケンナンバーやマーキングは、車検の前にすべて取り除くこと。

⑪全てのゼッケンプレートの数字の周囲には最低25㎜の余白が残され、ここにはいかなる文字や模様、広告も表示しないこと。

⑫フロントおよびシートカウル上部にゼッケンを貼り付けるためのカバーの装着を認める。ゼッケンナンバーをシート表皮に直接貼り付ける場合は、十分な脱脂を行い、走行中にゼッケンの飛散を防止する処理を行うこと。

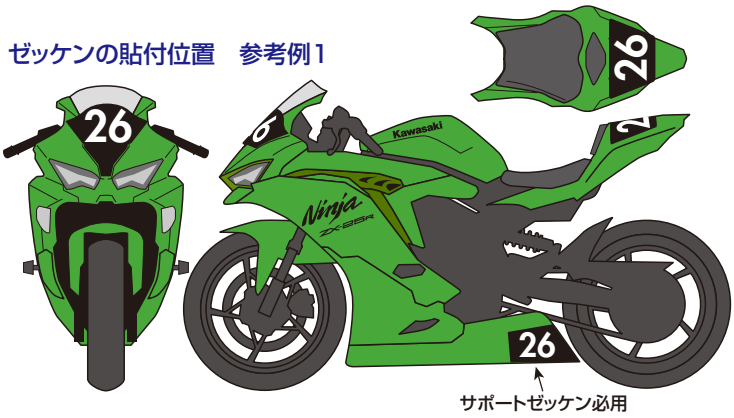
⑬ゼッケンを貼る場所に注意して、車検時にアンダーカウル・シートが取り外せるようにしておくこと。

⑭フロントゼッケンは正面部分に貼ることとするが、やむを得ず左右どちらかに貼る場合、オートポリス、SPA直入ではバイク正面に向かって右側（進行方向では左側）、鈴鹿サーキット、岡山国際サーキット、モビリティリゾートもてぎ、筑波サーキットは、左側（進行方向では右側）に貼り付けなければならない。

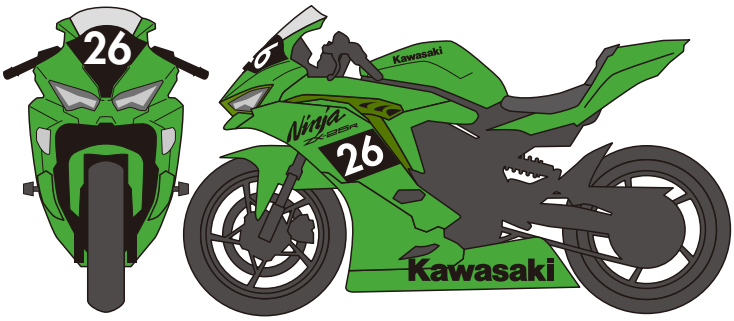
F. 燃料

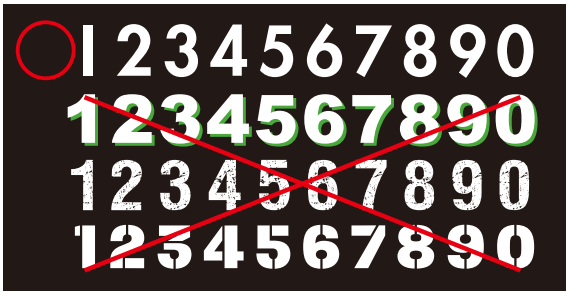
①競技用ガソリンは一般公道用の市販車に供するために通常のガソリンスタンドにて購入できるもの、あるいは開催サーキットのガソリンスタンドにて購入できるガソリンとする。

ゼッケンの貼付位置　参考例1



ゼッケンの貼付位置　参考例2





②競技用ガソリンには、販売時に混入されている以外の、いかなるものも添加されてはならない。

③大会特別規則によりガソリンの銘柄および供給方法が指定される場合はそれに従うこと。

G. 冷却水

①水冷エンジンの冷却水は、不凍液（ロングライフクーラント:LLC）が含まれる冷却水は使用できない。水または水とアルコールの混合物（レース用として一般に販売されている冷却水）に限る。

②グリコールを含まない冷却水（クーラント）は使用することができる。

H. テレメトリー

動いているモーターサイクルへ情報を伝える、または動いているモーターサイクルから情報を得ることは禁止される。
P-LAPなどの自動ラップ計時デバイスは“テレメトリー”とはみなされないが、公式計時方式、および装備を妨げてはならない。

I. エアクリーナー

純正品以外への交換は不可。

J. バッテリー

蓄電方式の市販品に限り交換できる。

K. 終了車検の実施

レース終了後に公道を走行する参加車両は、主催者が行う終了車検を受けなければならない。検査内容は主にテーピング処理の除去、バックミラーの取り付け確認、タイヤのエア圧力値、ドライブチェーンの伸び確認、ライト類の点灯、測定器の取り外し確認を行う。

装備とビジュアル・アイデンティティ

A. レーシングスーツ

①レース参加者は本規則指定のレーシングスーツを着用しなくてはならない。ブーツ、グローブは指定はしないが、破れやほつれが無い革製ものでモーターサイクルレースで使用できる製品でなければならない。

②指定のレーシングスーツは表の通りとする。

③オフィシャルレーシングスーツの基本グラフィックは下記に示す物とし、基本グラフィックを変更することはできない。また、型番が同じであっても下記に示す基本グラフィック以外の物はオフィシャルレーシングスーツとしては認めない。

④レースで使用するレーシングスーツには、以下に挙げるワッペンを貼り付けることは禁止する。
×Kawasaki以外のオートバイメーカーのロゴおよび社名（個人名の場合を除く）
×大会協賛メーカーに競合する他メーカーのロゴおよび社名
×著しく公序良俗に反する内容物
×大会イメージ上、レースディレクターが適当でないと判断した物

⑤レースディレクターが必要と認めた場合は、ワッペンやロゴ等をガムテープ等で隠蔽するように命じることがある。

⑥その他、レースディレクターが認めた個人スポンサーなどのワッペンをレーシングスーツに貼り付けることは許可される。

⑦レーシングスーツ内には、CE規格（EN1621-2【Leve1またはLevel2】適合品）の脊柱プロテクションと、胸部を保護するチェストガード（CE規格：EN1621-3【Level1またはLevel2】適合品）を装着しなければならない。尚、エアバッグ一体式でエアバッグ本体にCE規格【EN1621-2】適合品の脊柱プロテクション、CE規格【EN1621-3】のチェストガードが装備されている場合は免除される。

B. エアバッグ

30歳以下および55歳以上の選手に対してエアバッグの着用を義務とする。
対象年齢の選手は、MFJに登録されているエアバッグを使用（着用）しなければならない。 車検時にエアバッグがMFJ登録製品であることを確認する。 車検時に複数のエアバッグ（仕様または型式違いでも可）を登録することも認められる。
※適用年齢とはレースウイークの予選日時点の年齢とする。

C. ヘルメット

①ヘルメットは、外観に樹脂部分に至る衝撃跡やスライド痕がないもので、MFJが公認した製品（MFJ公認マークが貼付されているもの）を使用しなければならない。

②車検を受けた後の走行は、その車検に合格したヘルメットを必ず使用しなければならない。なお、車検では複数のヘルメットを登録することも認められる。

※ヘルメットを含む装具類一式は、必ず車検を受けた製品を使用すること。

D. 指定レーシングスーツ

2021年発売レザースーツ

RS-タイチ

GPWRX SP TYPE-A
型番 NXL305SP-XXXXXXX※1

※1：型番の末尾は、
M、MW、L、LW、XLのサイズ表記、
および枝番号。

RS-タイチ

GPWRX TYPE-B
型番 NXL305 GP-WRX※2

※2：オフィシャルレーシングスーツ
TYPE-Bには純正部品の
型番は設定しない。

2022年発売レーシングスーツ

RS-タイチ

GPWRX NXL307BLK
GRN TYPE-C
型番 JNXL307SP-XXXXXXX※3

※3：型番の末尾はサイズ表記、カラーは
ブラック＆グリーンの指定カラー

RS-タイチ

GPWRX NXL307BLK
WHT TYPE-D
型番 NXL307 GP-WRX※4

※4：オフィシャルレーシングスーツ
TYPE-Dには純正品番の
型番は設定しない。

2023年発売レーシングスーツ

クシタニ

カワサキオフィシャル
クレドスーツ
K-0084XXK

2025年発売レーシングスーツ

クシタニ

カワサキオフィシャル
クレドスーツ2
K-0094XXK

RS-タイチ

GPWRX NXL307BLK
TYPE-E
型番 NXL307BLK GP-WRX※5

※5：オフィシャルレーシングスーツ
TYPE-Eには純正品番の型番は
設定しない。

2026年発売レーシングスーツ

RS-タイチ

GPWRX NXL309 GMT BLK
TYPE-F
型番 JNXL309-XXXXXXX ※6※6

※6：型番の末尾はサイズ表記
カラーはガンメタル＆ブラックの
指定カラー

レンタルレーシングスーツ

クシタニ

K-0065XXK

E. 車両グラフィック

①車両は塗装できるが、塗色を変更した場合は、指定された指定されたデカール（「Ninja」・「Kawasaki」・「ZX-25R」各1枚）を、車体両サイドに識別出来るように貼り付けること。

②外装部品（フェンダー・カウリング）には、レースディレクター並びに、主催者指定の協賛企業から供給されるステッカーを指定された位置に貼り付けなくてはならない場合がある。※詳細は各サーキット発行の大会の特別規則書を参照。

③その他、大会により、協賛スポンサーの変更あるいは追加されることがある。

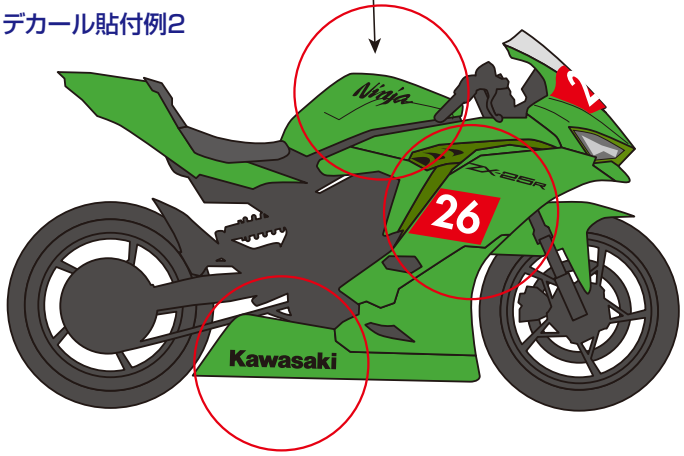
④車両グラフィックのイメージを維持し、協賛企業と競合しない個人スポンサー等のステッカーを貼り付けることが認められる。

⑤以下に該当するステッカーおよびグラフィックについてはレースディレクターが、除去もしくはカッティングシート等で隠蔽を指示する場合がある。また、これに従わない場合は審査委員会から参加を取り消される。

✕ Kawasaki以外のオートバイメーカーのロゴおよび社名（個人名の場合を除く）
✕ 大会協賛メーカーに競合する他メーカーのロゴおよび社名
✕ 著しく公序良俗に反する内容
✕ 大会イメージ上、主催者が適当でないと判断した物

デカール貼付例1

デカール貼付例2



大会協賛メーカー一覧

DUNLOP　elf

その他

①Ninja Team Green Cupにおいて、ライダー以外の同伴者等が、ピット前やスターティンググリッドにて整備作業を行ったり手伝う場合は、MFJピットクルー（Aタイプ、Bタイプのどちらでも可）ライセンスが必要になるため、事前に該当するライセンスを取得しておくこと。

②アクセサリーパーツとして、グリップヒーター、その他レースディレクターが認めた製品の装着は認めるが、落下などで本人ならびに他の走行者の安全性を損なうものであってはならない。

本規則に関するお問い合わせ先

タムラインターナショナル株式会社
Ninja Team Green Cup運営事務局
Mail: kawasaki-ntgc@tamura-int.com